

# 政治が果たすべき その対応能力を問う!

- まだまだ続く迷走政局、こう着状況からいつ脱することができるのか?
- さらなる景気悪化、どうする雇用対策…国民の声はいつ政治に生かされるのか?

## 自民・民主 両党議員に聞く—

自民・公明の現政権が続くのか、民主を中心とした野党が、政権交代を果すのか。今年は、決戦の時を迎える。三百小選挙区のうち、過半数をめざして、激しい攻防が予想される時、ゆれ動く政局をどう読むのか。自民、民主の地元代議士に胸のうちの聞いてみた。

### ○政局でなく国益を!!

### 危機対応に、予算成立を急げ

鈴木 淳司

サブプライムローンの破綻に端を発したアメリカ発の金融不安が、グローバル経済の中で一気に世界中へ広がりを見せる中、百年に一度とも言われるこの国際的な金融危機は、今や世界同時不況の暗い影を投げかけています。輸出のみならず日本経済そのものを支えてきた、あのトヨタ自動車ですら赤字転落が報じられるほどの環境下、法人事業税の大幅減収に伴う愛知県への歳入欠陥は、当初予測をはるかに超えて、ついには四千九百億に至るかとの、かつて無い事態に至りました。世界経済が音を立てて崩れ落ちている、今、まさに私たちは、その最中にいるようです。

世界経済の急激な後退局面にあつて、昨年十一月の金融サミットG20では、金融資本市場の安定化に向けて、各国があらゆる政策を総動員することと、財政出動の必要性が再確認されましたが、これはもはや一国単独ではなく、国際